

村の部
第4位

第29回 ふくしま駅伝



第29回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が11月19日、しらかわカタールスポーツパーク陸上競技場から福島県庁までの16区間94・8kmで行われました。風が強く肌寒い中、本村チームは1区で15位と好スタートをきり、2区で村の部首位に立つなど序盤から上位争いを繰り広げました。中盤以降、時折り雪が舞うなかでの厳しいレースでしたが、終始上位を争う接戦となり、沿道に駆けつけた家族や友人などの熱い声援を背に、チーム一丸となつてタスキをつなぎ、5時間31分14秒でゴールしました。

総合成績は第25位、村の部では第4位という好成績を収めました。

また、第2区(サンフレックス白河〜泉崎さつき公園の8・2km区間)の宗像聖選手(学法石川高2年)が、村の部で区間賞を獲得し、チームを上位に導く素晴らしい結果を残しました。



第16区 鈴木優行選手



第5区 関根佑樹選手



第1区 熊谷萌選手



大会終了後、中央公民館で行われた選手慰労会の際には、村の婦人団体「磐青の会」のみなさんのご好意により、温かいけんちん汁が振る舞われました。

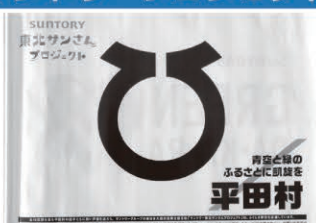


第11区 吉田京香選手



第9区 遠藤来海選手

サントリープロジェクト



沿道では、多くの皆さんが福島民報社とサントリーグループの特別企画で作成した「ふくしま駅伝サンさん応援フラッグ」を手に応援していました。

吉田孝行監督からのコメント

村民の皆様には早朝よりご声援ありがとうございました。2年連続優勝とはならず期待に応えることは出来ませんでした。中高校生の若い力が来年に繋がる熱い走りが出来たのではないかと思います。30回記念大会となる来年、また王座奪還を出来るよう頑張りたいと思います。今後とも村民の皆様の応援、よろしく願います。



吉田孝行監督からの
コメント

村民の皆様には早朝よりご声援ありがとうございました。

選手コメント (敬称略)

 第4区 村上 健太郎 (郡山東高2年) 今回は、1区・2区・3区の選手が激走してくれて、自分はなんとか他の村のチームに追いつかれないうようにしようと村の部1位をキープできるように走りました。風がとても強く吹いていたのですが、良い走りが久しぶりにできたのではないかと思います。とても良い思い出となりました。	 第3区 吉田 凌 (ひらた清風中3年) 今回、ふくしま駅伝に初出場し、2区の選手から7位でタスキをもらいとても緊張しましたが、自分なりのペースで走ることができました。村の部4位で入賞することができませんでした。チームのまとまりが感じられたので良かったです。	 第2区 宗像 聖 (学法石川高2年) 今回は1区が良い順位できてくれたので、学法石川高校の先輩達とペースを作りながら走ることができ、昨年よりも楽しく走ることができました。ラスト2.5kmぐらいから気持ちで負けてしまったので、しっかりと練習をして、また来年は今回よりも良い走りができるようにしていきたいです。	 第1区 熊谷 萌 (学法石川高2年) ベストな状態で臨むことができて、目標タイムに届かない悔いの残る走りになってしまいました。この悔しさを胸に来年こそは、チームに貢献できるような走りをして村の部優勝を目指します！
 第8区 佐藤 清哉 (ひらた清風中3年) 中学校最後のレースであり、今までの全てを出すという気持ちで挑みました。7区からのタスキが繋がらず、少し戸惑いましたが自分が三年間やってきたことを全て出しきれたと思うので良かったです。	 第7区 須釜 楽 (ひらた清風中3年) 中学校生活最後のふくしま駅伝で、昨年の自分のタイムを超えることはできませんでしたが、上り坂など昨年よりは気持ちを切らすことなく走ることができました。	 第6区 島貫 聖吾 (小野高2年) 今回は、初めて一般区間を走りました。昨年は走ることができず、今回は走ることができ嬉しい思いでしたが、前日に風邪を引いてしまい、練習不足となってしまうような走りが出来なかったと感じています。来年は体調を整え、ベストなコンディションで臨みたいです。	 第5区 関根 佑樹 (帝京安積高1年) 今大会は、22分を目標として走り、記録は22分15秒でした。でも、村の部で3位になってタスキを繋いでしまって、練習が足りないなと思っています。これから1年間、またしっかりと練習したいです。
 第12区 嶋貫 彰博 (八戸自衛隊) 2年ぶりにふくしま駅伝を走らせていただいたのですが、チームに貢献する走りができず、悔しい思いです。来年も大会に参加できるなら、必ずチームに貢献できる走りをしたいと思います。応援ありがとうございます。	 第11区 吉田 京香 (学法石川高1年) 初めて11区を走り、緊張もありましたが、チームに貢献できる走りが少しでも出来たと思います。繰り上げスタートが心配でしたが、最後までタスキを繋げることができて嬉しかったです。	 第10区 阿部 良平 (NTT東京) 2年振りに最長区間の10区ということで、不安しかありませんでしたが、最低限の走りが出て来てホッとしています。来年も呼んで頂けるよう、頑張ります。朝早くから、ご声援ありがとうございました。	 第9区 遠藤 来海 (ひらた清風中2年) 2年連続2回目の出場で、昨年と同じ9区を走りました。村の部では、4位と悔しい結果でしたが、昨年より個人のタイムは縮まり全力を尽くせました。今まで支えてくださった、監督やコーチ陣には感謝の気持ちでいっぱいです。
 第16区 鈴木 優行 (仙台自衛隊) 今回、久しぶりにアンカーを走らせていただいて感謝しています。チームに貢献するような走りはできませんでしたが、平田村の若い子達の成長を感じ、また来年も頑張ろうという気持ちが出ました。来年は、村の部優勝奪還を目指して、また頑張りたいです。	 第15区 春日 彩花 (ひらた清風中3年) 私にとって2回目となるふくしま駅伝でしたが、走る前はとても緊張しました。しかし、「村の代表」であることを噛みしめながら、精一杯走ることができました。昨年よりタイムが落ちてしまい、悔しい気持ちもありますが、ベストを尽くせたので良かったです。今年もふくしま駅伝に携わることができ、本当に良い経験ができました。	 第14区 阿部 泰聖 (ひらた清風中2年) 初出場で、緊張した部分もありましたが、自分のペースで走ることができました。繰り上げスタートだったので、前について走ることができれば良かったと思います。来年に向けて、練習に取り組みたいです。	 第13区 森 わたる (北富士自衛隊) まず、5年ぶりにふくしま駅伝に参加させていただいた、監督、コーチ、平田村村民の方々に感謝の気持ちです。いま持っている力で精一杯走ることができました。来年は、村の部優勝を奪還できるように練習していきたいです。